

(■トラック06) お店には内緒でキスハメ生セックス、しちやおつか♪

花蓮

「わあ♪ ボクくん、今日もいらつしやい♪
こんなによつちゅう来てくれるようになつちやつて…
お姉さん、嬉しいわ〜♪

んんっ

ちゅばれろちゅばべちよちゅばっ…!!

(■※ディープキス20秒)

真由莉「今日もいらつしやい、ボクくん…。

でも、大丈夫…？

このお店、かなり高いでしょう…？

ボクくん、まだ社会人じゃないのに…

お金、大丈夫…？

え？ 今日少し、お友達から借りて来たの…？
う~~~~ん…。

花蓮

「もう、すっかり私たちにズブズブじゃない…♪
でもダメだぞ〜？

ちゃんと自分で働いたお金で、来るんだぞ〜？

まあでも、それだけ私たちに夢中つて事よね♪
もう払っちゃったものは仕方ない、
今日もまた、いっぱい抜いてやるからな〜♪

ちゅっ♪

く間く

花蓮 「(■※ディープキス 10秒)

つぶあ…♪

おーおー、今日もキスだけで、
おちんちん、ガツチガチだねえ…♪

ふふ、な〜に〜？

さつきからぐりぐり…。

キスしながらそんなにお腹に押し付けてきて…♪

ふんふん…。

え？ 今日は本番… したいの…？

う〜〜〜ん…。

ボクくんのお願いでも、それだけはね…♪

このお店、本番は禁止だからね。

その辺すつつごく、厳しいの…。

私たちだけじゃなくて、他の小町だつて、

絶対みんな、本番だけはしてないと思うよ〜？

真由莉「(■※少しマイクから離れた位置から)

花蓮さん、ちよつと…

花蓮 「(■※少しマイクから離れながら)

ん？な〜に〜？

(■※少しこそそした感じ。自然な感じで。)
うん… うんうん…。

あ〜〜ね…？

う〜〜ん…。 うん、私はいいわよ〜。

「(■※マイク、元の位置に戻って)

よくし、しょうがないなく。

ボクくん、今日だけは特別に、

本番、させてあげても、いいわよ……？

ただし……！

真由莉「次からは、ちゃんと働いて、

ボクくんのお金で、誰にも迷惑かけずに来ること……。

いい？ 約束出来る……？

真由莉「(■※耳元ゼロ距離)

その代わり、今日は好きなだけ、
本番させてあげる・・・♪

蕩けるようなセックスで、

ボクさんの初めて……奪ってあげるわ……？

私たちのおまんこを、

気持ちよ～～く…

生でいっぱい使わせてあげるから……♪

ちゃんと約束してね♪
ボクくん…♪

(間)

花蓮 「それじゃ、入れるわよ」♪

~~~~~♪

んっ…  
はあ…♪

真由莉(■※マイク左よりで)

「まあ、花蓮さんのおまんこの中に、  
おちんちん、ぬつぶし……入っちゃったね……♪

(■※マイクゼロ距離)

ついにセックス……♪ しちやったね……♪

花蓮「あは♪ 童貞卒業、おめでと〜♪

んっ はあ……♪

騎乗位はやっぱ深いところまで、

おちんちん…… 入っちゃうよねえ……♪

え？ ふふ…… もう気持ちいいの……？

まだまだこれからよ〜♪

じゃあ、動いちゃうね……♪

ん、はあ……♪ んっ…… あっ…… はあ……♪

(■※ゆっくり喘ぎ声 30秒ほど)

真由莉「うふふ、始まつちやったね……♪

お店では絶対に禁止の、本番セックス……。

しかもナマで……。

ほら？ 気持ちいい……？

初めてのセックス……

初めてのナマセックス……♪

でも、忘れないでね……？

ここは接吻亭、なんだから……♪

私もキスでお手伝いするから……

一緒に気持ちよくなろうね……♪

んっ……♪

(■※優しいディープキス 30秒)

花蓮「んあっ♪ はあ、おちんちん、かつたあい…♪

気持ちいいところに当たって… ふふ、

私、ボク君と相性いいのかも…♪

あ、はあ…♪

じゃ、少しペース、上げるよ…？

(■※少しだけペースアップ)

ん、あ、 はあ… んっ はあ…♪

ほら、ぱんぱん♪ ぱんぱん♪

あ、 はあ… ん… はあ…♪

ずつぶずぶ♪ めっぼめっぼ♪

ん は、あん♪ あっ…♪

気持ちいいね…♪ あんっ あっ…♪

お店に内緒でハメハメするの…♪

あ、ん、 はっ…

おまけに相手はこんなシヨタっぽい子で…

しかも初めて奪っちゃって…♪

あん、あ、はっ…

ふふ、何だかお姉さんたち、

すっごくイケない事してるみたい…♪

は、背徳感ヤバあ…♪

ん。はっ あっ あっ…

今日はいっぱい、ハメハメしてあげるね…♪

おまんこ使って、ボクくんのおちんぽ、

気持ちよ～～～～～～く、

しごいてあげるからね…♪

(■※喘ぎ声40秒ほど)

真由莉「ほら、見て…？」

ボクくんのおちんちんが…

花蓮さんのおまんこに、

ぬっふぬっふ…ぬっふぬっふっふっふ…っ

出たり入ったりしてるの…  
モロに見えちゃつて、すごくエッチね…♪  
見て…？ ほら…♪

ぬっぽぬっぽ… ぬっぽぬっぽ…♪  
ぬっぽぬっぽ… ぬっぽぬっぽ…♪

部屋中にエッチな音や  
可憐さんの甘い声を響かせて…  
オスとメスの甘〜い交尾…  
しちゃつてるね…♪

花蓮

「もう…♪  
その蕩けた顔、堪らない…♪  
私もキスしちゃお♪

(■※マイク正面に近づいてキス)

んちゆるっ ちゅばちちゅばっ…  
んん〜〜♪

(■※キスしながらの喘ぎ声(キスハメ) 40秒ほど)

真由莉「あらあら♪ おくち、取られちゃった…♪

(■※左耳に近づいて)

じゃあ私はお耳、いっぱい…舐めちゃうね…♪  
れろちゅばれろちゅば…  
今はいっぱい…お耳責められながら、  
花蓮さんとのキスハメ、楽しんでね…♪

(■※耳舐め 30秒ほど)

(■自分用メモ…しばし水音だけの時間)

花蓮

「つぷあ…♪ はあ、気持ちいいね…♪  
上のお口でも…下のお口でも  
交尾するの…♪ んっ…♪

私もボクくんを食べちゃってる！　って感じがして…  
んあっ　あっ…♪  
とっても興奮しちゃう…  
んんっ　ん、　ちゅばっ　んっ

(■※キスハメ　30秒ほど)

真由莉「ボクくん…

可憐さんに食べられちゃってるね…♪

ちゅばちゅば…

初めてのセックスで、緊張でいっぱいなのに…

散々一方的に貪られて…

おちんちん絞られて…

もみくちやにされて…

ちゅばちゅばちゅば…

もう快樂でおかしくなっちゃいそうだね…♪

(■※耳舐め　40秒)

花蓮

「ああん♪可愛いなあ…♪

ほら、もつとペース、上げるよ…？

ぬぼぬぼぬぼ…♪

ばんばんばん…♪

ぬぼぬぼぬぼ…♪

ばんばんばん…♪

ん？　もうイキそうなの…？

いいよ…♪　じゃあキスハメしたまま、

遠慮なく中に出しちゃおっか♪

初めてのセックスで…

初めてのナマエッチして…

初めてのナマ中出し…キメちゃおっか…♪

ん、　あ、　あっ♪

いっぴい出して・・・？ ボクくん・・・♪

ちゅばちゅばれろちゅばちゅば・・・

【■※キスハメ 20秒】

【■※射精】

んっ!？

んあ・・・♪ ちゅ・・・ んん・・・ ちゅ・・・ ちゅば・・・

れろ・・・ ん・・・ ちゅ・・・ れろ・・・ ちゅ・・・

ちゅ・・・ んん・・・ ちゅ・・・ ちゅば・・・

ん・・・ ちゅ・・・ れろ・・・ ちゅ・・・♪

真由莉「まあ・・・♪ 出しちゃったわね・・・♪

可憐さんの中に中出して・・・♪

キスハメしたまま、気持ちよく  
びゅびゅっ・・・♪ びゅびゅっ・・・ っ・・・♪  
らっご中出してっごちゃっごめむ・・・♪  
ちゅばれろちゅばちゅば・・・♪

花蓮 「っふぁ…♪

はぁ… 射精、終わった…？

ふふ、射精後もそんなにびくびくして…♪

そんなに気持ち、良かった…？

んっ… じゃあ、おちんちん、抜いちゃうね…♪

ぬぷぷぷぷっ…っ…っ…♪

んはっ…♪

真由莉「(■※マイク、フェラ位置くらいまで離れて)

まあ…♪ すごい…♪

可憐さんのおまんこから、

濃い精液が、ごぼおっつて… たっぷり♪

とんでもない量の精液、

花蓮さんに搾り取られちゃったのね…♪

花蓮 「はぁ…♪

ボクくんの事、いっぱい食べちゃった…♪

んっっ…むちゅちゅばれろちゅばちゅばっ…

ボクくんもすっごく気持ち良かったの…？

ふふ、良かった…♪

え？ 赤ちゃん…？

あは、大丈夫よ…？

私、ちよつと女の子の日が重くてね…。

普段からちよくちよく、

ピル飲んでるんだ…♪

でもおかげで、今日はボクくとセックス、出来ちやつた……♪  
ボクくん、ラッキーだったねえ……。

ん  
ん  
っ  
:  
:  
:  
♪

(**■**※**✳**ディープキス 15秒)

あん♪ またおちんちん、ビクビクしてる…♪

真由莉「もう、ふたりとも熱いんだから・・・♪  
 見てるこっちまで身体が熱くなっちゃうわ・・・。

花蓮 「それじゃあ……そろそろ交代、しよつか♪

(**■※**マイク右側に移動しながら)

真由莉さん、つぎ、お願いね♪

真由莉「は〜い…。」

（※マイク正面側に移動）

じゃあ、次は私が上に、乗っちゃうね……♪  
また硬くなっちゃったおちんちんを……  
んっ……♪

$\mathbb{F}_q[x_1, \dots, x_n]$

んっ… はあ…♪

ほら、おまんこで、おちんちん、  
にゅつぷんって… 食べちゃった…♪

んあっ…♪

もう気持ち良くて、

中で暴れたくてびくびくしてるね…♪

ほんと元気なんだから…♪

ふふ、それじゃ、動くね…？

ん、はっ… んっ んっ…

(■※喘ぎ声 20秒ほど)

花蓮 「真由莉さんの中…気持ちいい…？  
あったかい…？

いっぱい甘えさせて貰おうねっ♪

いっぱいハメハメして…

ぬぽぬぽ。ハコ。ハコして…。

気持ちよっくぴゅっぴゅしようねっ♪

ほら、接吻…しよ？

んんっ…

(■※優しくディープキス 30秒ほど)

真由莉「あん♪ ボクくんたら…

自分から腰も振っちゃつて…♪

ふふ、上手よ…っ？

おまんこにいっぱいハメハメ…出来てるわよ…？

んあ、あっ…♪ あっ♪

おまんこ。ハコ。ハコ…♪

おちんぽ、ぬぽぬぽぬぽ…♪

ふふ、吸い付くようなおまんこで、  
おちんぼこすられるの、気持ちいいの…？  
んっ あっ は、 あっ…♪

じゃあ、私もペース、上げちゃうね…♪

(■※少しペースアップ)

んあっ あっ♪ あっ ん、 あっ…♪

(■※喘ぎ声 30秒ほど)

花蓮 「わあ、すっごい…♪

真由莉さんの、なっっ…：が！おっぱいが、  
揺れてるなんてもんじゃなくて…  
ほんとにブルブルン弾んじゃってるね…♪  
すっっ…：ごい迫力…：！

ちよつとお、ボクくん、

おっぱい、ガン見しすぎだよ…：？

ここは接吻亭なんだからね…  
ちゃんとお口も、楽しんでよね…。  
んんっ…

(■※ディープキス 30秒)

真由莉「ん、 あっ はっ…♪

おちんぼ、ずっと気持ちい？  
ぬっぽぬっぽ、ずっぽずっぽ…：♪

おまんこハメハメ…

おまんこハメハメ…：♪

今日は、いくらでも

おまんこで、おちんぼ擦っていいからね…：♪  
ん、あ、 あっ♪

たつぷり気持ちいい事楽しんで、  
大人のオトコになろうね…♪

(■※あえぎ声 30秒ほど)

花蓮

「はあ…真由莉さん、  
セックスもえぐいねえ…。

普段あんなにしとやかで上品なのに、  
セックスが始まった途端、  
あんなにぐりんぐりん腰振って…  
おっぱいはるんばるんバウンドさせて…

(■※耳元に寄つて、耳舐めに変更

ちゅばちゅばちゅば…  
ふふ、こんなの、  
さつきまで童貞だったボクくんには、  
刺激が強すぎるよねえ…♪  
れろちゅばちゅばちゅば…

こんなの、これから毎晩  
ボクくんの夢に出て来ちゃうね…♪  
ちゅばちゅば…♪  
ボクくん、これから毎晩夢精しちゃうね…♪

(■※耳舐め30秒)

真由莉「ん？ な…に…？

あ、 んっ あっ…

お口が空いた途端、おっぱい吸いたいの…？

じゃ、状態起こそうか…？  
おっぱい吸いながら、授乳セックス、  
しよつか。 ほら…♪

(■※マイク近づく)

(■※キスよりは少し遠い距離で)

あん♪ んっ… はっ んっ んっ…  
ちゅうちゅう吸って…可愛い…♪

ん、あっ んっ ほら、ぎゅ〜〜〜〜っ♪  
おっぱい吸う赤ちゃんみたいに、抱きしめてあげる…♪  
よしよし…よしよし…♪

んっ あんっ あ、 んっ はあ…♪

(■※ピストン。喘ぎ声30秒ほど)

花蓮

「おっぱい吸いながら  
おまんこハメるのも、興奮しちゃうね…♪  
ちゅばちゅばれろ…」

腰へへへ必死に動かして…  
夢中になっておっぱいちゅうちゅうして…♪  
ほら、ぱんぱん♪ ぱんぱん♪  
へへへへへへへ♪

ちゅばちゅばれろ…  
ふふ、赤ちゃんセックス、気持ちいいですか〜♪

(■※耳舐め 30秒ほど)

真由莉「ふふ、でもダメよ？」

このセックスは、ボクくんが大人で  
一人前の男性になるための  
セックスなんだから…♪

んっ ふっ…

ほら、大人のキス、しょ…？  
んんっ ちゅばれろちゅば…♪

この前までのセックスみたいなキスじゃなくて、  
ほんとにセックスしながらの深いディープキス…♪

ちゅばれろちゅばっ…♪

上のお口も下のお口もねつつとり…♪

ぬちゃぬちゃに絡み合うセックス…しちやおうね…♪

ん、ちゅっ んんっ ちゅばれろっ

(■※キスハメ音 30秒ほど)

花蓮 「うわ、すごい…♪

もうボクくん、ぐっちやぐちや…♪

れろちゅばちゅばちゅばちゅば…

流石にもう出そう…？

いいよ…？ 出しちやお？

ちゅばちゅば…

真由莉さんとぐちやぐちやに

溶けあうみたいなセックスしながら、

いっぱい中出し…しちやおうね…？

(■■耳舐め 30秒)

真由莉「出していいよ…？

ちゅばれろちゅば…♪

恋人以上の濃厚なキスしたまま、

めいっぱい中に出して…？

(■■※キスハメ音 20秒)

(■■※射精)

んんっ……!!

ん……♪　ちゅ……　ん……　ちゅぽちゅぽ……♪

ん……　れろ……　ん……　んっ……

ん……　ちゅ……　ん……　ん……　ちゅ……

ん……　れろ……　ん……　んっ……

花蓮「わあ、出ちゃったね……♪　れろちゅぽ……

真由莉さんの暖かい中に……♪

ぴゅっぴゅっ……　ぴゅっぴゅって……

また元気に勢いよく射精……

しちやつてるね……♪

(■※耳舐め　10秒)

真由莉「ふぁ……♪　はぁ……♪

とろ～んって、蕩けた顔可愛い……♪

ちゅぽちゅぽ……♪

んあっ… お射精、お疲れ様…♪  
ボクくんったら、とつつ　ても気持ち良さそうに  
射精していたわよ…♪

んあつ…♪  
んっ…  
最後まで

絞り出すみたいに、おまんこでしめつけて……

んっ… あっ… ♪

ふふ、おちんちん、抜いちやうね……？

(■※マイクから少し離れて)

...

んっ…はあ…♪

(ぬぽん)

花蓮 「いつもの事だけど、  
今回もまた凄い量の射精したねえ……♪

ほら、真由莉さんのおまんこから、  
どろろって、溢れかえってるじゃない…♪

真由莉「んあっ…♪ ほら、じっくり見て…？」

ボクくん、こんなにいっぱい中出ししたのよ……？

ほら…♪

花蓮 「あは、真由莉さんみたいな上品な女の人から自分からお股開いて見せてるの、エッロお・・・♪

二発目なのにこんなに溢れるくらい中出しして……  
ボクくん……そんなにセックス……  
気持ち良かったの……？

ん？ 最高だった？  
ふふ、良かった…♪

じゃあ、またおそうじフエラで  
優しく労わってあげるね…。

れろ… ちゅぱれろ…

(■※優しいおそうじフエラ 10秒ほど)

真由莉「じゃあ、約束よ…？

今後はちゃんと自分の力で、お店に来ること。

(■※マイク右耳 囁く感じで)

もし一人前の大人になったら、  
その時はまたお店に内緒で  
好きなだけセックス… させてあげるから…♪

その時にまた、会おうね…♪  
ちゅっ…♪

(…終…)